

年間指導計画 及び評価規準

【知技】…知識技能 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ

学期	月	単元名	評価規準
1 学期	4	絵の具のぼうけん、たのしさ発見！	【知技】身のまわりのものを使って絵の具遊びをしながら、つくり出した形や色などの感じがわかっている。
			【知技】身の回りのものを工夫して使ったり、思いついたものなども試したりして、絵の具遊びをしている。
			【思判】思いがけない形や色などの感じや面白さからイメージを広げ、絵の具の新しい使い方を見つたりしている。
			【主体】いろいろな用具を使って、絵の具のできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくり出すことをたのしもうとしている。
	5	つけて、のぼして、生まれる形	【知技】粘土に触れたり動かしたりして、形の感じや変化がわかっている。
			【知技】握る、かき出す、ねじる、積み上げるなど、手や用具を使いながら、いろいろな形の表し方を工夫している。
			【思判】粘土をつけたりのぼしたりしてできた形などの感じをもとにイメージを広げ、どのような形にしていきたいか考えている。
			【主体】粘土の感触を味わいながら、進んでつくることをたのしもうとしている。
	6	木々を見つめて	【知技】身近にある木々を見たり、触れたりすることから木々の形や色、それらの組み合わせによる感じがわかっている。
			【知技】絵の具を使って、色づくりや混色、筆使いなど、さまざまに試しながら、自分の思いや表したいことに合わせて表し方を工夫している。
			【思判】身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに、自分のイメージをもちながら、表したいことを考えている。
			【主体】身近にある木々に興味をもち、自分なりの木を描くことをたのしもうとしている。
7	かみわざ！ 小物入れ	【知技】色厚紙を折ったり、切ったり、箱を組み合わせたしながら、形や色などの感じがわかっている。	
		【知技】はさみやカッターナイフについての経験を生かしながら、表したい小物入れのイメージに合わせて箱のつくり方や組み合わせ方を工夫している。	
		【思判】自分のイメージや形や色などの感じをもとに、使ってみたい小物入れを思いつき、表し方やどのようにつくっていくかを考えている。	
		【主体】小物入れをつくることにたのしく取り組もうとしている。	
8	へんてこ山の物語	【知技】「へんてこ山」を描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。	
		【知技】描画材料を選んだり筆使いを工夫したりして、表したい「へんてこ山」の形や色などの表し方を工夫している。	
		【思判】「へんてこ山」の形から想像を広げ、思いついたお話をどのように表すか考えている。	
		【主体】「へんてこ山」を描くことをたのしもうとしている。	
2 学期	8 ・ 9	どろどろカッチン	【知技】布や芯材に触れたりしながら、形などの感じがわかっている。
			【知技】布や液体粘土の特性を生かして、布の形や固め方を工夫している。
			【思判】固まった布の形から、自分のイメージを広げ、表したい世界やものを思いつき、どのように表すかについて考えている。
			【主体】液体粘土の感触を味わいながら活動に取り組もうとしている。
	10	飛び出すハッピーカード	【知技】飛び出す仕組みのカードをつくることを通して、紙の特徴から形や色などの感じがわかっている。
			【知技】飛び出す仕組みを生かし、表したいカードに合わせて、形や色や組み合わせ方を工夫している。
			【思判】贈る相手のことを思い浮かべながら、伝えたいことを思いつき、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すか考えている。
			【主体】つくったカードで気持ちを伝えることをたのしもうとしている。
	11	つながれ、広がれ！ だんボール	【知技】段ボールを切ったりつないだりして、形や色の感じがわかっている。
			【知技】体全体を使って、切り方やつなぎ方を工夫し、段ボールの形を変えていく活動を工夫してつくっている。
			【思判】段ボールの形や色の感じや活動場所の感じなどをもとに、自分のイメージをもちながら造形的な活動を思いついたり、段ボールの形を変化させたりしながら、どのように活動するかを考えている。
			【主体】自分の思いを追求したり友達と協力したりしながら活動をしようとしている。
12	つないで組んで、すてきな形	【知技】紙バンドを曲げたり折ったり、組み合わせたりして、形や色の感じがわかっている。	
		【知技】紙バンドを曲げたり折ったりしながら、表したいことに合わせて組み合わせ方やつなぎ方を工夫している。	
		【思判】自分のイメージや形や色などの感じをもとに、使ったり飾ったりするものを思いつき、どのようにつくっていくか考えている。	
		【主体】紙バンドの特徴を生かして、使えるものや飾りをつくることをたのしもうとしている。	
3 学期	1	トントンつないで	【知技】角材と板を接合することを通して、形や色、組み合わせたときの動きなどの感じがわかっている。
			【知技】のこぎりや金づち、釘を使いながら、つなぎ方や動き方を工夫して表している。
			【思判】角材と薄い板を釘でつないで生まれる動きから、自分のイメージを広げ、つくりたいものを思いつき、どのようにつくるかについて考えている。
	2	ゆめいろらんぶ	【知技】角材を切ったり、薄い板と釘でつないだりすることをたのしもうとしている。
			【知技】材料の形や色の組み合わせを光を通して試すことを通して、材料の形や色の特徴や感じがわかっている。
			【知技】用具を適切に使い、光を透過する材料の形や色、その組み合わせを、表したいことに合わせて工夫している。
	3	ほって表す不思議な花	【思判】映る光の色や影の形からイメージを広げてつくりたいランプの形を見つけ、表し方について考えている。
			【主体】材料を透過する光の美しさや面白さを自分の感覚で感じながらランプをつくり、みんなでランプを飾ることをたのしもうとしている。
			【知技】彫ったり刷ったりすることを通して、形や色などの感じがわかっている。
3	ほって表す不思議な花	【知技】彫り刀の扱いに慣れ親しみ、表したいことに合わせて彫り方や刷り方などを試しながら工夫して表している。	
		【思判】彫りでできる形や刷りの色などから自分のイメージをもち、表したい花を思いつき、表し方について考えている。	
		【主体】版を彫刻刀で彫ったり、インクをつけて刷ったりすることをたのしもうとしている。	